

---

# 避難経路？

聖魔光闇

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

避難経路？

### 【コード】

N3840U

### 【作者名】

聖魔光闇

### 【あらすじ】

ベランダの壁に書かれた文字【非常の際には、ここを破って隣戸へ避難できます】

それに関する些細な話

## 僕（前書き）

連載にする必要もありませんでしたが、一話一話を分けたかったの  
で、こうしました。

僕

【非常の際には、ここを破って隣戸へ避難できます】

うちの家のベランダには、左右の壁に、そんな文章が書いてある。最初に見た時は、真剣に驚いた。ある意味、驚愕の事実だった。

【非常の際には、ここを破って隣戸へ避難できます】

何処をどう通って、何処へ避難するのだろうか。

非常の際……。どんな時だ？ 火事か？ 火事の時、何処に行こうというのだろうか……。

【非常の際には、ここを破って隣戸へ避難できます】

うちの家は一軒家。

隣の家との間には、当たり前だが、隙間が存在する。

大人が、普通に歩いて通れる位の幅の隙間。

その隙間の上に位置するベランダの壁に……。ベランダの壁？

何故、僕の家は、一軒家なのにベランダの両端が、壁なのだろうか？ そんな壁に書かれた文字。

【非常の際には、ここを破って隣戸へ避難できます】

そのコンクリートの壁を、どういう手段で破って、何処へ避難するのだろうか？

『下に落ちろ！ って事か？』

『隣の家のベランダにジャンプして、不法侵入しろ！ って事か？』

うっん。本当に不明だ。誰だ、こんな事書いたヤツ！

【非常の際には、ここを破って隣戸へ避難できます】

火事や地震の時に、火事場泥棒を促すような文章はやめましょう！

マンションやアパートなら、露知らず。

そもそも、ベランダになんて、逃げないだろ！

うちの家は、二階建て一戸建て住宅だぞ！

今見ても、疑問が尽きず、やはり驚愕だ。

## 母

うちの息子はなんだか変。

一日一回は、ベランダに顔を出して、キョロキョロと拳動不審に辺りを見渡すと、部屋に戻っていく。

それも毎日、私が用事をしていない時に、コソツと覗いて去っていく。

『何してるのかしら？』

今日も、学校から帰ってくると、「ただいま」と言ってから、ベランダを覗きに行った。

表現できないような、変な顔をして、ベランダに顔を出すと、周りをキョロキョロと見渡している。

『あの子、何か変な事でもしているのかしら？ さすがに毎日だと少し気になるわね』

毎日毎日、時間は違っけれど、ベランダを覗いている息子。

どこからどう見ても、ただの拳動不審。

これはやっぱり、直接聞いてみるべきかしら。

息子を、誤った道に進ませてはいけないからね。

『その前に、お父さんに相談した方が、いいかしら？』

あれかしら？ ベランダの両端に書いてある【非常の際には、ここを破って隣戸へ避難できます】まさかね。

『あの子も馬鹿じゃないんだし……』



姉

毎日飽きないわね。アイツ。

そんなに気になるのかしら。ベランダのあの文章。

それにしても、母さんも頭悪いわね。アイツが、ベランダを覗いている理由、わかってないみたいだし。

【非常の際には、ここを破って隣戸へ避難できます】

『ちよつとしたシャレじゃない』

何を考えているのかしら？

【非常の際】が、気になるのかしら？ それとも、【ここを破って】かしら？ まさか、【隣戸へ避難】じゃないわよね……。。

普段は、頭の良いヤツなんだけど……。頭が悪くないのが、仇になっているのかしら？

『面白いから、もう少し様子を見よ〜っ』

あんなにコソコソ隠れて、アイツの事見なくてもいいじゃない！？

母さん、本当に気付いていないのかしら？

私、すぐに気付いたけどね。

まさか母さんから、アイツの行動について、相談されるなんて思ってもみなかったわ。

でも、面白みに欠けるから、ごまかしておいたけどね。

『母さん、いつになったら気付くのかしら？ まさか、父さんに相談したりしないわね。馬鹿じゃないんだし……。』

【非常の際には、ここを破って隣戸へ避難できます】

『シャレでしょ！ シャレ！ 馬鹿だなあ。頭、良いのに……。』





## 父

『ただの家つてのも、刺激がなくていかんな。面白みに欠けるから、少しいたずらしてみるか？』

うちの家の不思議なところは、ベランダの両端がスチール柵じゃないところか。

それ以外は、至って普通だしな。

何をしよう。我が家の七不思議。なんていうのも、面白みがあった方がいいか？

とりあえず、家の周りの中に、楽しめそうな所がないか、探さないとな。

今日、部下の家にお邪魔した。

馬鹿みたいに飲んだ揚げ句、一人で帰れないくらいになったので、送っていったのだ。

酔い醒ましに、冷たいお茶を飲みながら、少し話をした。

屋内は禁煙だと言うので、ベランダに出てタバコを吸った。

そこで面白い文章を見付けた。

【非常の際には、ここを破って隣戸へ避難できます】

鉄筋作りの高層団地つてのは、面白いところだな。

『あの板、突き破るのに、どれくらい力があるのだろう』

とうとうやってしまった……。

母さん怒るかなあ？ それよりも、みんなどんな反応をするだろう。

母さんは……、呆れるだけか。

お姉ちゃんは……、以外と冷めているからな。無反応かな？

アイツは……、頭が良いからな、無駄か……。

『なんだ。面白みの薄い家族だな。まあいいか、放置しておこう。』

俺達がもし、引っ越しをしたら、その後に入ってくる人が、ビツクリするだろうし……』

ベランダの両端の壁に書かれた、【非常の際には、ここを破って隣戸へ避難できます】の文字を見て。

『ただ、そのビツクリした人の顔を見れないのが、残念だな。また、違う事でも考えるか……』

父（後書き）

本当に些細な、ちょっとしたコメディ？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3840u/>

---

避難経路？

2011年6月26日21時02分発行